



Monthly Times

和歌山県立
串本古座高等学校串本校舎
平成 27 年 (2015 年) 8 月号

和大オープンキャンパス

～ どの学部が良かったかな? ～



7月19日(日)和大的オープンキャンパスに1年生12名、2年生8名、3年生6名、計26名の生徒が参加しました。例年大学進学希望者を対象に大学見学を実施しており、今年も和歌山大学のオープンキャンパスに参加しました。和歌山大学への進学だけでなく、大学についての理解と進学に対する意識の高揚が大きな目的です。学食



での昼食を楽しんで、和歌山大学のマスコットキャラクター「わだにゃん」を囲んで記念撮影もしました。実際に大学に足を運ぶことはとても大切です。この機会を生かしてモチベーションを高め夏休みを有意義に使ってください。

本校のオープンキャンパス(学校説明会)

～ぜひ来年串本校舎を受検してくださいね!～

7月31日(金)近隣の中学生98名が本校のオープンキャンパスに参加してくれました。今後の進路決定の参考にしてもらうため、授業体験やクラブ体験を用意し、存分に串本校舎の雰囲気味わってもらいました。初めに体育館に集合、中川教務部長から本校の教育課程やコース制の特色について説明が行われ、続いて生徒会による学校紹介も行われました。その後、希望した教科に分かれて模擬授業を体験し、最後に、これも各自が希望した12の体育・文化クラブに分かれクラブ体験を行いました。熱中症を心配するほど暑い日でしたが、みなさん熱心に聞き入り、取組んでくれた姿がとても印象的でした。



学童保育茶道体験

～ 未来の千利休はでてくるかな? ～

8/3(月)、本校課外活動棟に串本町の学童保育所「放課後スマイリー」の皆さん33名をお迎えしました。浴衣姿の茶道部員12名の指導で茶道体験を行いました。慣れない正座で緊張感の中にも楽しい一日を過ごすことが出来ました。でも小学生のみなさんには、抹茶はちょっと苦かったかな?来年も皆さんの来校をお待ちしています。



防災訓練 ～ 地震は忘れた頃にやってきます！ 備えあれば憂いなし ～

8/4(火)の登校日に防災スクールを実施しました。講演・ワークショップ・起振車体験を3つの柱に行いました。まず国語科の平澤隆先生が、当時福島に在住していた自身の体験をもとに「東日本大震災を経験して(福島からのメッセージ)」と題して講演をしてくれました。当時の大変だった状況を生々しく語ってくださいました。ワークショップは災害時に重宝される簡易トイレづくり。新聞紙・防水シート・ビニール袋を使って生徒会役員の指導のもと全校生徒が作成にチャレンジしました。最後は各クラス代表が、県の起振車「ごりよう君」で震度7を体感しました。



1年学習合宿 ～ 為せば成る 為さねば成らぬ何事も ～

8/5日(水)、6日(木)1泊2日の日程で1年生の進学希望者の生徒を中心に学習合宿会が開催され、熱心に勉強に取り組みました。5日は、和歌山県立医科大学の木村晃久先生にお越しいただき、「脳を感じる」と題して脳神経の講義をいただきました。最新の脳科学の現状について触れることが出来ました。6日は、今年3月に卒業した3名のOB(前田有里さん〔県立医科大看護学部〕、西絢音さん・岡村美於さん〔大阪大谷大教育学部〕)から高校時代の勉強の仕方やクラブ活動との両立についてお話をいただきました。最後に、和歌山大学システム工学部の曾我真人先生と研究室スタッフの方にお越しいただき、大学での学びについて、講義と実演を交えて体感しました。ちなみに5日は本校の課外活動棟に宿泊し、夕飯と朝食は皆で協力して自炊しました。ふだんの学習とは一味違った二日間でしたが、皆さんの進路実現に結びつくことを期待します。



にしき園への慰問 ～ 地道な交流を継続したいです ～



8月7日(金)茶道部員13名(部長佐々木汐音さん3D)が串本町内の特別養護老人ホームにしき園を訪問しました。利用者の方約80名にお茶を振る舞い楽しんでもらいました。真夏の暑いなか、部員全員が浴衣姿で納涼感を演出し利用者のお年寄りの皆さんにも大変好評でした。



いよいよ2学期がスタートしました！！

【始業式における愛須貴志校長先生からのメッセージ】
今学期のキーワードは3つ、選択(Choice)協同(Cooperation)貢献(Contribution)です。2学期は進路の「選択」。たくさん予定されている行事での「協同」。選挙権年齢が18歳に引き下げられ、社会への参画がより身近なものとなります。9月の国体開催も控え、一人一人が地域への「貢献」を考えるいい機会にして欲しいと思います。

～ お知らせ ～

串本校舎 体育祭
9月12日(土)実施です
(雨天順延)